

在職者向け職業訓練の新規事業（基礎的ITセミナー）について

第4次産業革命による技術革新の進展により、あらゆる産業において、IoT（Internet of Things）、ロボット、ビッグデータ、AI、RPA（Robotic Process Automation）などのIT技術の利用が進められる中、中小企業がIT技術を活用した事業展開を図るためには、全ての従業員が今後標準的に基礎的ITリテラシー（※）を身につけることが求められています。

このため、当機構では、全国の生産性向上人材育成支援センター（生産性センター）において、中小企業等で働く人々を対象としたITの活用や情報セキュリティ等の基礎的ITリテラシーを習得するための訓練「基礎的ITセミナー」を民間機関等の教育資源を活用して実施します。

（※）基礎的ITリテラシーとは、現在入手・利用可能なITを使いこなして企業・業務の生産性向上やビジネスチャンスの創出につなげられる能力のこと。全てのビジネスパーソンが今後標準的に身につけることを期待されるもの。

基礎的ITセミナーのポイント

「全てのビジネスパーソンが今後標準的に身につけることを期待されるもの」として、IT初心者（中高年層の学び直しを含む。）を対象にした基本操作レベルから、中堅層（応用操作が可能な者）を対象にした高度活用レベルまでの訓練コースを、地域のニーズを踏まえて設定し、専門的な知見やノウハウを有する民間機関等の教育資源を活用（民間委託）して実施します。

- 訓練日数（訓練時間）
概ね半日～3日（3～18時間）
- 受講料（1人あたり）
2,160円～5,400円
- 主な訓練分野



生産性センターで実施するその他の訓練メニュー

在職者訓練（ハورتレーニング） ＜高度な技能・技術の習得を支援＞

「技能・技術などの向上」や「新たな製品づくり」といった企業の生産現場が抱える課題解決のために、“ものづくり分野”を中心に、設計・開発、加工・組立、工事・施工、設備保全などの実習を中心とした高度な訓練コースを体系的に実施しています。

- 訓練日数（訓練時間）
概ね2～5日（12～30時間）
- 受講料（1人あたり平均）
13,000円程度
- 主な訓練分野



【機械系】・機械設計 ・機械加工 ・溶接加工
【電気・電子系】・電子回路設計 ・電気設備保全 ・IoT技術の活用
【居住系】・建築設計 ・建築製図 ・施工管理

生産性向上支援訓練 ＜生産性向上に必要な知識等の習得を支援＞

中小企業等の生産性向上に必要な知識等を習得するために、あらゆる産業分野で必要とされる“生産管理、IoTやクラウドの活用”などのカリキュラムを、利用企業の課題に合わせてカスタマイズし、専門的な知見やノウハウを有する民間機関等を活用して実施しています。

- 訓練日数（訓練時間）
概ね1～5日（6～30時間）
 - 受講料（1人あたり）
3,240円～6,480円
 - 主な訓練分野
- 【生産・業務プロセスの改善】
・生産管理 ・品質管理 ・IoTによるビジネス展開 ・クラウド活用入門
【横断的課題】・組織マネジメント 【売上げ増加】・マーケティング



IT理解

世の中にどのようなITがあり、どのような機能・仕組みを有し、どのような場面で活用されているかについての理解を目的としたコース

- 【主な訓練分野・訓練コース】
- 新技術動向
 - ・第4次産業革命のインパクト
 - ・RPAによる業務の自動化
 - 業務のIT化
 - ・つながる業務への理解
 - ・業務とデータの流れの見える化
 - ネットワーク
 - ・ネットワーク管理に役立つLANの基礎
 - ・無線LANとセキュリティ

ITスキル・活用

企業・業務の課題解決に有用なITを選定・操作して、目的にかなう情報を取得・分析・表現し、課題解決につなげる能力の習得を目的としたコース

- 【主な訓練分野・訓練コース】
- 表計算
 - ・品質管理に役立つグラフ活用
 - ・マクロによる定型業務の自動化
 - 文書作成
 - ・正確に伝わる技術文書作成のポイント
 - プレゼンテーション
 - ・相手に伝わるプレゼン資料作成
 - ホームページ
 - ・読まれるためのWebライティング

IT倫理

ITを安全に活用するための情報セキュリティやコンプライアンスの知識の習得を目的としたコース

- 【主な訓練分野・訓練コース】
- コンプライアンス
 - ・ネット炎上とSNSの危険性
 - ・ITに関する法制度の理解
 - ・事例研究から学ぶインシデント対応
 - 情報セキュリティ
 - ・インシデントとセキュリティの必要性
 - ・社内ネットワークのセキュリティ対策
 - ・情報漏えいの原因と対策



基礎的ITセミナーについて

第4次産業革命による技術革新の進展により、あらゆる産業において、IoT（Internet of Things）、ロボット、ビッグデータ、AI、RPA（Robotic Process Automation）などのIT技術の利用が進められる中、中小企業がIT技術を活用した事業展開を図るためには、全ての従業員が今後標準的に基礎的ITリテラシー（※）を身につけることが求められています。

このため、当機構では、全国の生産性向上人材育成支援センターにおいて、中小企業等で働く人々を対象としたITの活用や情報セキュリティ等の基礎的ITリテラシーを習得するための訓練「基礎的ITセミナー」を幅広く民間機関等の教育資源を活用して実施します。

（※）基礎的ITリテラシーとは、現在入手・利用可能なITを使いこなすことにより、企業・業務の生産性向上やビジネスチャンスの創出・拡大に結び付けることができる土台となる能力のことをいい、いわゆるIT企業で働く者だけでなく、ITを活用する企業（ITのユーザー企業）で働く者を含め、全てのビジネスパーソンが今後標準的に装備することを期待されるものをいいます。

1 訓練の概要

- (1) 訓練計画数（全国）
‘18年度:4,000人、‘19・‘20年度:各13,000人（3年間、計3万人）
- (2) 対象者
中小企業や製造現場等で働く在職者（事業主からの指示を受けた者）
※初任層（中高年等の学び直しを含む。）から中堅層（応用操作が可能な者）までを対象
- (3) 訓練実施方法
オープンコース（公開型訓練により幅広い企業から受講者を募集）
- (4) 訓練時間数
3時間～18時間（訓練コースごとに異なる）
- (5) 受講料（税込・1人あたり）
2,160円～5,400円（訓練コースごとに異なる）
- (6) 主な訓練分野、訓練コース（全38コース（‘18年7月現在））

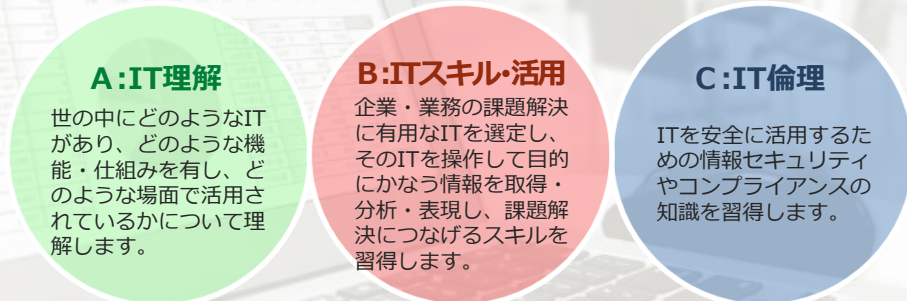
習得段階 訓練分類	ステップ1 (認知・基本操作)	ステップ2 (知識・応用操作)	ステップ3 (高度活用)
IT理解	ITに関する基礎知識 ・つながる業務への理解 ・ネットワーク管理の基礎	ITに関する専門知識 ・RPAによる業務の自動化 ・業務とデータの流れの見える化	
ITスキル・活用	ITツールの基本操作 ・表計算ソフトの業務活用 ・SNSを活用した情報発信	ITツールの応用操作 ・ピボットを活用したデータ分析 ・伝わるプレゼン資料作成	ITツールの応用演習 ・表計算ソフトによる統計データ解析 ・DBソフトを活用したデータ処理
IT倫理	IT倫理の基礎知識 ・ITに関する法制度理解 ・情報セキュリティの必要性	IT倫理の専門知識 ・事例から学ぶインシデント対応 ・情報漏えいの原因と対策	

※初任層を対象にしたステップ1から中堅層を対象にしたステップ3まで、地域ニーズを踏まえて実施

2 訓練実施の流れ



訓練分類ごとの3つの目的



(7) 実施機関（委託先）

訓練は、民間教育訓練機関等（専門・各種学校、委託訓練・求職者支援訓練実施機関、その他研修機関等）に委託して実施（生産性向上支援訓練との関連性の高い訓練コース（業務のIT化等）については、同訓練の実施機関も活用）